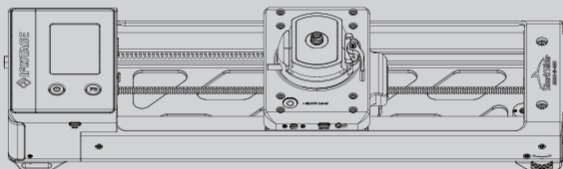


Shark Slider **nano II**

Nanoll-460 / 660

取扱説明書



 **IFOTAGE**

この度はiFootageをお選びいただき、ありがとうございます。

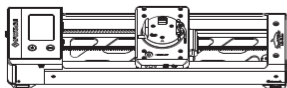
この説明書にはShark Slider Nano II 460/660についての重要な情報が記載されています。ご使用になる前に必ずお読みいただき、大切に保管してください。

Shark Slider Nano II 460/660は、コンパクトで多用途に使える写真撮影に最適なツールです。DJI製ジンバルとシームレスに統合し、スムーズな動作を実現します。また創造性を高める6つの撮影モードが簡単に切り替えられます。直感的な操作が可能なアプリとIPSタッチスクリーンでマルチポイント設定が簡単に行えます。動作メモリ等の機能により、電源オフ後でもスライダーは最後の設定を記憶しており、簡単に撮影を再開できます。ターゲットトラッキング・安定化機能・超静音設計により、安定したノイズのない映像を撮影できます。さらにPD3.0急速充電により長時間の性能が保証される為、外出先で活躍するプロの写真家やビデオグラファーに最適です。

目次

■本体及び付属品一覧	1
■技術情報	2
■予防	3
■特徴	4
■各部名称	5
■電源管理	6
■機能説明	7-18
注意事項	7
スマホホルダー / 雲台の取り付け方法	8
水平・垂直変換プレートの取り付け方法	9
ジンバルの取り付け方法と取り外し方	10
縦軸方向のバランスのとり方	12
ロール軸のバランスのとり方	14
横軸方向のバランスのとり方	15
多軸調整の説明	16
目標追尾 (ターゲットトラッキング)	17
DJIブッシュモードを有効にする	18
ロール軸の使用方法	19
フォーカスフォロー機能の使用方法	20-21
カメラ撮影・録画機能	22
■操作方法	23-25
■モードの選択方法	26-30
■設定の概要	31-32
■Bluetoothの繋げ方	33
■アプリの説明	34-38
■メンテナンス	38
■FCCステートメント	39
■ISEDステートメント	40

本体及び付属品一覧



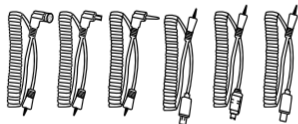
iFootage Nano II 本体



クイックリリースプレート



スマートフォンホルダー



シャッターケーブル（6種類各1本）



カスタムDJI RS アダプター



マグネティックケーブル



キャリーバッグ



6角レンチ



取扱説明書



保証書



製品認証

注意事項：

製品本体はこの取説が印刷された以降でアップデートや改良が行われる可能性があります。
取説の内容と実際の製品との間に相違がある場合は、製品本体で確認してください。

製品名	Nano II -460	Nano II -660
スライダー寸法	463.5×133×99mm	663.5×133×99mm
有効可動範囲	233mm	433mm
水平耐荷重（テーブル上）	7kg	7kg
垂直耐荷重	3.5kg	3.5kg
入力電力	PD60W	PD60W
動作温度環境	-25℃~+65℃	-25℃~+65℃
重量	2.8kg	3.1kg
素材	アルミ合金+カーボン素材	アルミ合金+カーボン素材
バン軸回転角度	360°	360°
スライド軸精度	1μm	1μm
バン軸回転最高速度	180° /秒	180° /秒
スライド軸移動最高速度	140mm/秒	140mm/秒
バン軸回転最低速度	0.1° /秒	0.1° /秒
バン軸移動最低速度	1μm/秒	1μm/秒



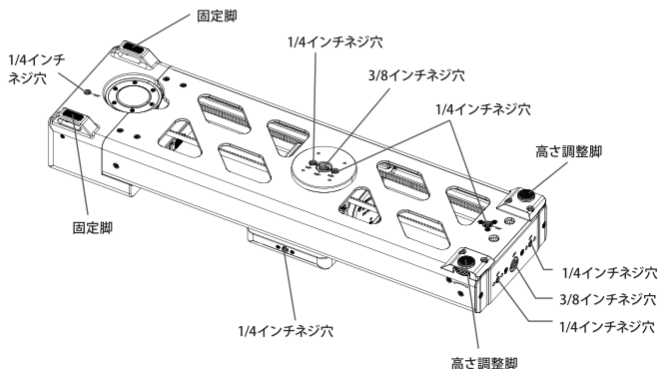
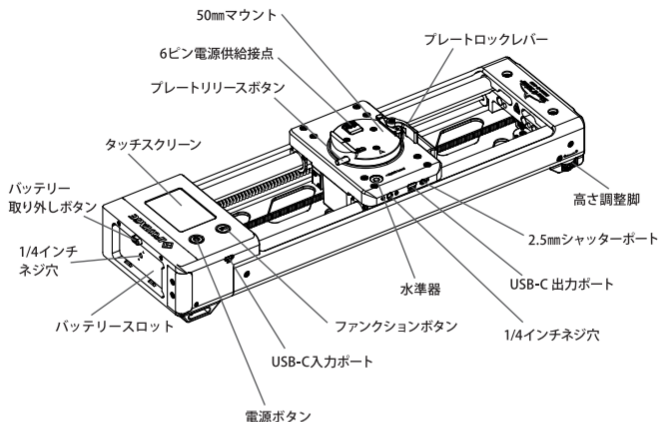
注意事項：以下の情報をお読みください。

- この取扱説明書は製品とお客をサポートするために細心の注意を払っておりますが、不明瞭な点や説明の省略がある場合がございます。より良い説明書にするためにお客様からのご意見を歓迎致します。
- この製品をご利用いただくためにiOS12以上及びAndroid8.0以上に対応したiFootage Mocoアプリをダウンロードしていただく必要があります。
- iFootage MocoアプリでNano IIを操作するには、以下のダウンロード手順に従ってください。iOSユーザー：Apple App Storeで「iFootage Moco」または「iFootage」を検索してダウンロードするか、QRコードをスキャンしてダウンロードしてください。Androidユーザー：Android App Storeで「iFootage Moco」または「iFootage」を検索してダウンロードするか、QRコードをスキャンしてダウンロードしてください。
- 購入後は製品に損傷がないか、ご確認ください。部品の不足や不良品がある場合は、できるだけ早く販売店にご連絡ください。
- Shark Slider Nano IIを初めてご使用される際は、「注意事項」をお読みください。
- Nano IIを使用される際は、事前に指定された充電器で電源を入れ、指定された電圧・電流・温度範囲内で動作することを確認してください。
- この取扱説明書に記載されているカメラ、ジンバル、三脚、スマートフォン、水平/垂直クイックリリースプレート、バッテリー、マジックアーム、サポートロッド、バッテリーグリップ及びその他の非標準アクセサリーは参考用で別売となります。

1. アプリを開く前にスマートフォンのBluetoothが有効になっていることを確認してください。Androidデバイスをご利用の場合は、スマートフォンのGPSが有効になっていることを確認してください。
2. 機器の故障を防ぐため、本製品を湿気にさらしたり、濡れた場所や雨天、砂地、埃っぽい環境で使用しないでください。
3. このモーションコントロールユニットは、65℃以上及び-25℃以下の環境で使用しないでください。
4. 許可なく分解又は改造したり、不適切な機器の使用で損傷が発生した場合、保証外になる可能性があります。
5. この製品と部品は、子供や動物の手の届かないところに保管してください。
6. Nano IIを単独で動作させる場合、本体への電源供給には出力容量60W以上のバッテリーまたはPD電源が必要です。その他のデバイスに電源を供給する場合は、出力容量100W以上のバッテリーまたはPD電源が必要です。
7. Nano IIは、起動すると自動的に初期状態/ゼロポイントに移動します。操作をする前に移動コース上に障害物がないことを確認してください。損傷や怪我を避けるため、使用者はレールから手を離しておくことをお勧めいたします。
8. Nano IIでDJIジンバルを使用する前に、ジンバルのバランスが取れていることを確認してください。極端にバランスが崩れるとデバイスが過熱し、休止状態になる可能性があります。
9. カメラのバランス調整後、レンズの焦点距離の変更後、またはレンズ変更後にジンバルが揺れる場合は、自動調整を使用してください。
10. Nano IIとDJIジンバルでジェスチャーコントロールポイント設定機能を使用するには、DJI手動調整モードとPTFモードの両方を有効にする必要があります。
11. ターゲットトラッキングを有効にする前に、iFootage Mocoアプリでカメラ/スマートフォンモードを有効にしてください。
12. ターゲット追跡機能を使用する場合、携帯電話のカメラはカメラと同じ方向を向いている必要があります。そうでない場合、反対方向に追跡されます。
13. Nano II-660を最大荷重の7kgで使用する場合は、テーブルまたは平らな面に設置してください。三脚に設置する場合は、安定性を確保するために追加のサポートロッドが必要です。
14. DJIジンバルと併用する場合は、MocoアプリまたはDJIホイールとジョイスティックを使用してポイントを設定することをお勧めします。ポイントを手動で設定すると、不均一な力によりデバイスが異常動作（フリーズ・角度のずれなど）する可能性があります。
15. Nano IIのDJIフォーカス機能は、RS4/RS4 Pro+DJI Focus Proモーター（DF03-002）の組み合わせのみサポートします。
16. Nano IIがDJIと連携してフォーカス機能を使用してポイントを設定する場合、ダイヤルを使用してポイントを設定する必要があります。ポイントを手動で設定しないでください。データが失われる場合があります。

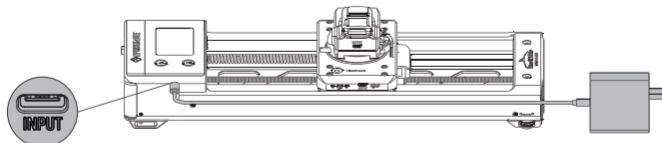
1. シームレスな多軸調整：Nano II は、カスタム DJI RS アダプターを介して DJIジンバルとシームレスに連携し、遅延の無い優れた多軸動作を実現します。
2. マルチポイントセットアップ：アプリまたは IPS タッチスクリーンから最大 8 つのポイントを同時に設定でき、それぞれに異なるパラメータを設定できるため、柔軟で多様な撮影が可能になります。
3. 電源遮断保護：この製品は強力なメモリ機能を備えており、電源 OFF 後も設定を素早く復元します。クリックするだけで確認できます。
4. ターゲットトラッキング：高度な AI アルゴリズムにより、ターゲットを選択するだけで正確な認識と追跡が可能になり、顔と物体の両方の追跡をサポートします。
5. 安定性の向上：新しい安定化技術とインテリジェントな手振れ補正アルゴリズムを組み合わせることで、振動を自律的に検出して打ち消し、望遠レンズとマクロレンズの両方で安定性を確保します。
6. 超静音動作：高品質のブラシレスモーターを搭載し、静かに動作するため、モーターノイズの干渉がなく、入力音声の後処理を軽減するので、インタビュー撮影に最適です。
7. 6 つの撮影モード：タイムラプス・ストップモーション・ビデオ録画・マクロモード・パノラマモード・マルチターゲットを簡単に切り替えることができます。
8. IPS タッチスクリーン内蔵：この製品には製品本体単独で制御を可能にする高輝度 IPS タッチスクリーンを備えています。
9. USB-C 充電ポート：PD3.0 に対応し 60W 充電器の使用で、効率的な送電を保証し、追加のバッテリー無しで製品本体に直接電力を供給できます。
10. 10 横方向ジンバルベース：6 ピン電源・通信インターフェースを備え、カスタム RS アダプターや今後の iFootage モーション軸とケーブルなしで完璧に接続できます。
11. クイックリリースプレート：1/4 インチと 3/8 インチのネジが付いたクイックリリースプレートが付属し、様々なジンバルや雲台、スマートフォンホルダーに対応しています。
12. 50 mm クイックリリースプレート：スライダーの横方向軸には 50 mm のクイックリリーススロットが備わっており、クイックリリースアクセサリと幅広く互換性があります。
13. 防塵設計：カーボンチューブ設計により、ほこりを効果的に防ぎ、スムーズな滑りを実現し、デバイスの寿命を延ばします。
14. 1 Bluetooth BLE5.0 接続：Nano II はモバイルアプリ経由で接続でき、追加のコントローラーを必要とせず、より簡単に、より柔軟に、そして素早く撮影できます。

各部名称



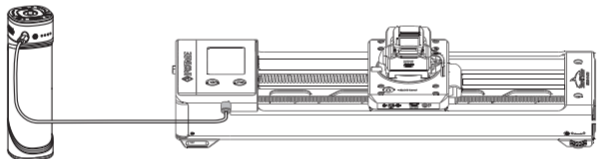
■ 屋内と屋外で複数の電源オプション オールインワンソリューション

1. USB-C 充電ポート：この製品はPD3.0と互換性のあるUSB-C 充電ポートを備えています。※60W 充電器を使用することで、バッテリーを挿入することなく充電しながら使用できます。※60W 充電器は付属していません。



USB-C 入力ポート

2. 屋外電源供給：屋外撮影時に安定した電源を確保するには、別売のiFootage PD140H/バッテリーグリップと組み合わせることで途切れることのない動作を実現します。

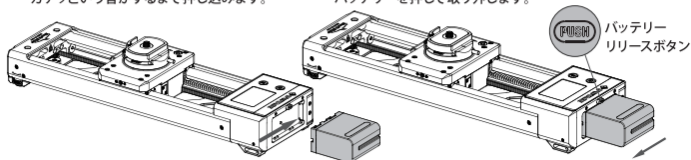


3. NP-F970バッテリー：Nano II はNP-F970リチウム電池を標準として、屋外の使用でも継続的な電源供給が可能です。

注意点：RS ジンバルに接続する際は、NP-F970バッテリーの出力が十分であることを確認してください（少なくとも60W）。そうでない場合、電力損失が発生する可能性があります。

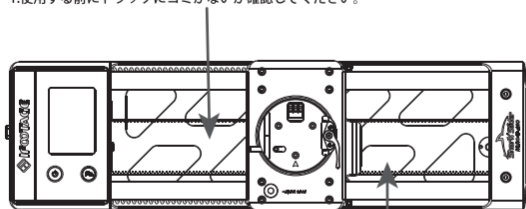
- ①バッテリーの取り付け方：バッテリーを取り付けるには、スロットにバッテリーを置き、カチッという音がするまで押し込みます。

- ②バッテリーの外し方：バッテリーを取り外すには、バッテリーリリースボタンを押し、矢印の方向にバッテリーを押して取り外します。



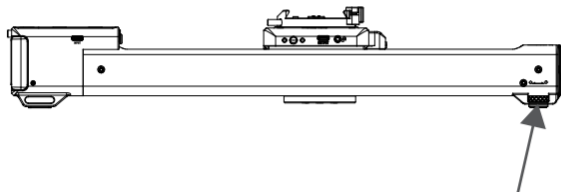
■ 注意

- 1.使用する前にトラックにゴミがないか確認してください。



怪我を防ぐため、操作中はレール等に
手を近づけないでください。

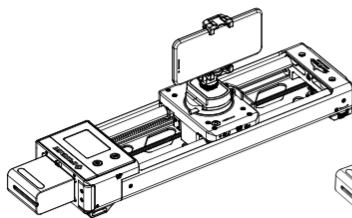
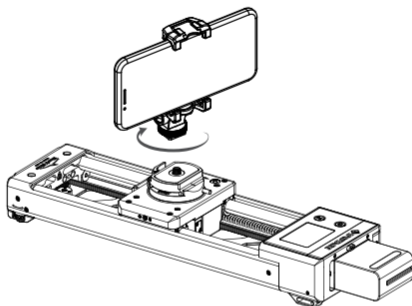
- 2.高さ調整脚を回して、製品本体が水平になるように調整します。



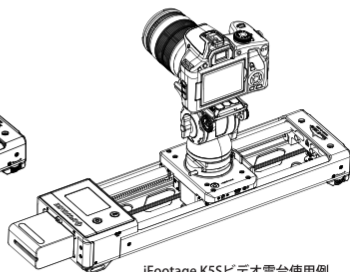
ノブを左または右に回して高さの調整をします。

■ NanoIIにスマートフォンホルダー / カメラ雲台の取り付け

横方向スライダーに使用する、1/4インチと3/8インチのネジが付いたクイックリリースプレートが付属しており、様々なスマートフォンホルダーや雲台、ジンバルと互換性があります。



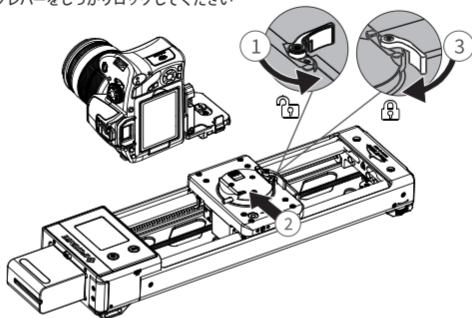
付属スマートフォンホルダー使用例



iFootage K5Sビデオ雲台使用例

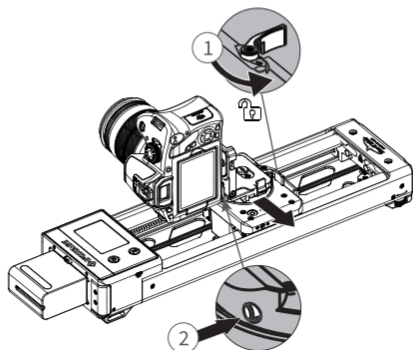
■ NanoIIに水平・垂直変換プレートHV-02を取り付けます。

- ① バン軸のプレートロックレバーのロックを解除します。
- ② HV-02プレートを50mmスロットに挿入します。
- ③ プレートロックレバーをしっかりとロックしてください



■ 水平・垂直変換プレートHV-02を取り外します。

- ① バン軸のプレートロックレバーのロックを解除します。
- ② バン軸のプレートリリースボタンを押してHV-02プレートをスライドさせて外します。

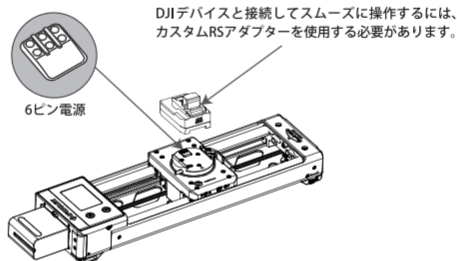


■ジンバルをNano IIに取り付けます。

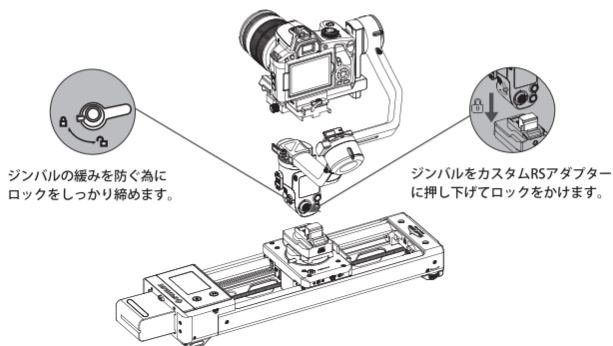
Nano II バンベースは6ピンの電源及び通信設計を採用しており、iFootage カスタムRSアダプターまたはiFootage Future モーション軸と組み合わせることができます。

Nano II はDJIジンバルと連携し、シームレスな多軸調整を実現します。対応機種：DJI RS2、RS2 Pro、RS3 Pro、RS4、RS4 Pro

- ① カスタムRSアダプターをバン軸の50mmスロットに配置し、バックルをロックします。

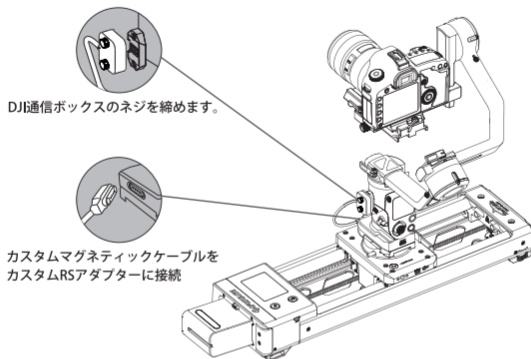


- ② ジンバルの接続部をカスタムRSアダプターに合わせてカチッという音がするまで押し下げて固定します。

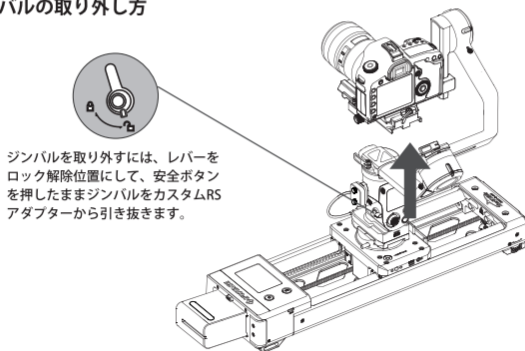


使い方と機能のご案内

- ③ 付属のiFootageカスタムマグネティックケーブルを使用して、カスタムRSアダプターをRSA通信ポートに接続します。



■ ジンバルの取り外し方



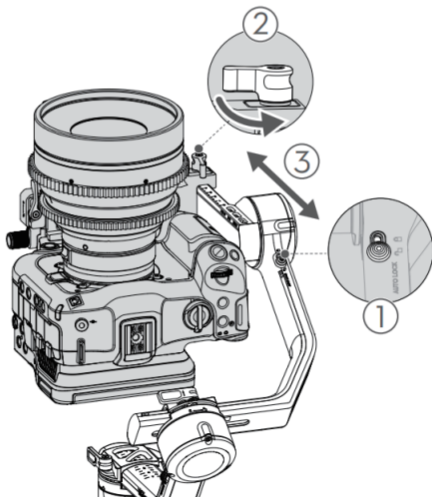
■ジンバルの調整

注意：Nano II にジンバルを取り付ける前に、ジンバルのバランスが取れていることを確認してください。極度にバランスが崩れるとジンバルが過熱し、休止状態になる可能性があります。

1. 垂直方向のバランスを調整する

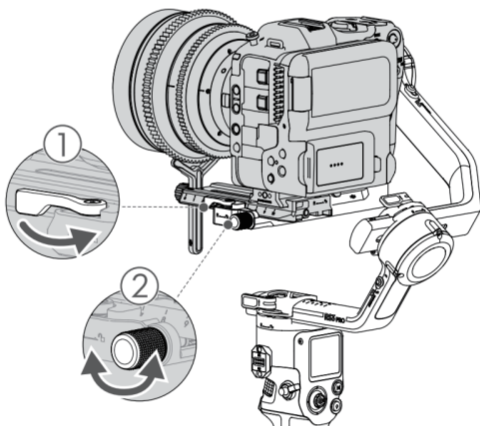
- 垂直方向のロックを解除し①、取り付けプレートのノブを緩めます②。
- カメラのレンズが上を向くように傾斜軸を回転させます。カメラが上部または下部に偏っていないかを確認してください。上が重い場合は、カメラを後ろに移動してください③。下が重い場合はカメラを前に移動してください③。
- カメラを上向きに持ちながら、マウントプレートのノブ②を締めます。カメラが上向きに安定している状態で垂直方向の傾きのバランスがとれます。

注意：DJI RS3 Pro を例にしています。



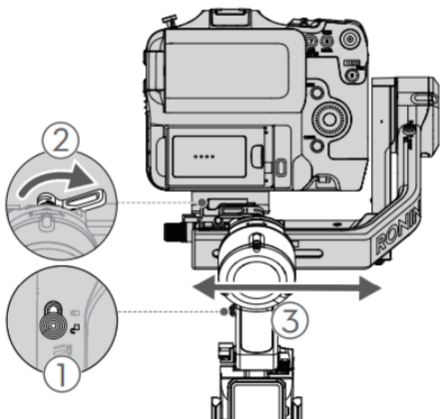
2. ティルト軸のバランス深度

- a. カメラのレンズが前を向くようにティルト軸を回転させます。レバーをロック解除位置に切り替えます①。
- b. カメラの重心が前又は後ろに偏っていないかを確認します。前方が重い場合は、ノブ②を回してカメラを後方に移動します。後方が重い場合は、カメラを前に移動します。
- c. ①をロック位置に切り替えます。カメラが上下45度傾いた状態で安定しているとき、ティルト軸はバランスが取れています。
- d. ティルト軸をロックします。



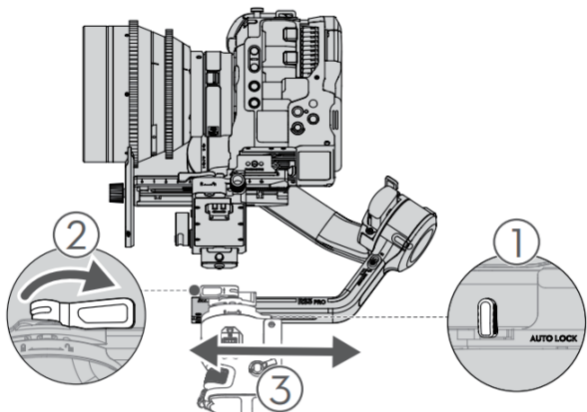
3. ロール軸のバランスをとる

- a. ロール軸のロックを解除します①。ロールアームのレバーをロック解除位置に切り替えます②。
- b. ロールモーターの振動方向を確認します。カメラが左に回転する場合は、カメラを右に動かします③。カメラが右に回転する場合は、カメラを左に移動します③。
- c. ロールアームのレバーをロック位置に切り替えます。カメラが安定しているとき、ロール軸はバランスが取れています。
- d. ロール軸をロック②します。



4. パン軸のバランスをとる

- a. パン軸のロックを解除します①。パンアームのレバーをロック解除位置に切り替えます②。
- b. グリップを握りながら、DJI RS 3 Pro を前方に傾け、パンアームを自分と平行になるまで回転させます。パン軸の動きを確認します。カメラレンズが左に回転する場合は、パン軸を右に押します③。カメラレンズが右に回転する場合は、パン軸を左に押します③。
- c. パンアームのレバー②をロック位置に切り替えます。グリップを傾けながらパンを回転させてもカメラが安定している場合、パン軸のバランスが取れています。

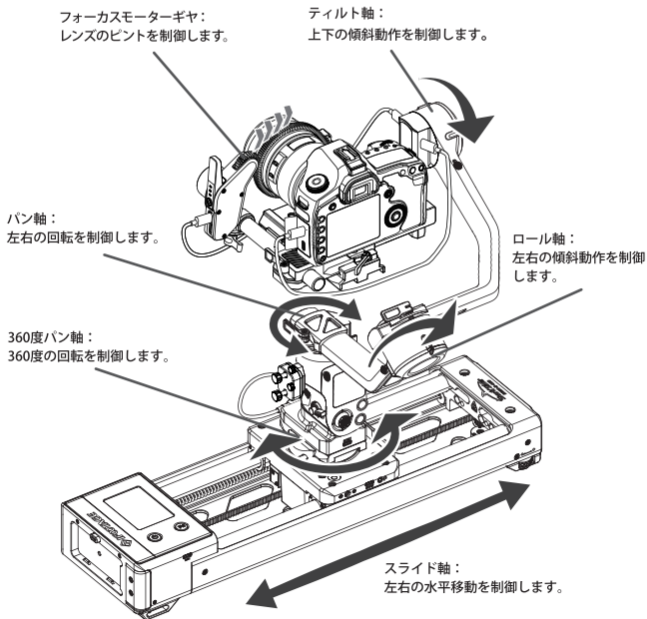


 バランス確認：ステータスバーが緑色に表示されている場合は、ジンバルのバランスが取れていることを示します。ステータスバーが黄色に表示されている場合、ジンバルのバランスがわずかに崩れています。ジンバルのバランスが著しく崩れると、ステータスバーが赤く表示されます。この場合は、対応する軸のバランスを再調整してください。パン軸のバランス状態を確認するには、ジンバルを左または右に15度傾けてステータスバーを確認します。

 自動調整：カメラのバランス調整後、レンズの焦点距離の変更後、またはレンズ変更後にジンバルが揺れる場合、自動調整を使用してください。

■多軸調整の説明

Nano II は、カスタムRSアダプターを介してDJIジンバルとシームレスに連携し、遅延のない多軸調整を可能にします。ジェスチャーコントロールポイントの設定、タイムラプス、ビデオ録画、パノラマモード、マルチターゲットストップモーション等、さまざまなモードを備え、新鮮なクリエイティブ体験を提供します。Nano II 単体では水平移動と360度回転ができます。DJI RS 2、RS2 Pro, RS3 Pro, RS4又はRS4 Proジンバルと組み合わせることで、ティルト、ロール、パン機能による4軸モーションが可能になります。RS4/RS4 ProとDJI Focus Proモーター（DF03-002）と併用することで、卓越した5軸撮影体験を実現します



使い方と機能のご案内

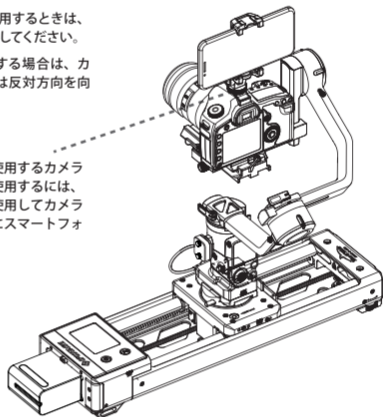
■ターゲットトラッキング (ご利用前にiFootage Mocoアプリをダウンロードして下さい)

Nano II 460/660は、顔認識や物体追跡等、正確なターゲット認識と追跡を実現する高度なAIアルゴリズムを備えています。DJIジンバルと組み合わせることで、包括的なスマートフォローが可能になり、鮮明で安定した撮影が可能になります。ライブストリーミング、会議、スピーチに最適です。

注意: ターゲットトラッキング機能を使用する場合、スマートフォンのカメラはカメラと同じ方向を向いている必要があります。そうでない場合、ターゲットはスマートフォンのカメラの方向にトラッキングされます。

- ① スマートフォンのフロントカメラを使用するときは、カメラレンズと合っていることを確認してください。
- ② スマートフォンの背面カメラを使用する場合は、カメラレンズと同じ方向を向き、画面は反対方向を向いている必要があります。

ターゲットトラッキングを使用するカメラ
ターゲットトラッキングを使用するには、スマートフォンホルダーを使用してカメラ上部のアクセサリシューにスマートフォンを取り付けます。



アプリのビデオモードで、ターゲットトラッキングを選択します。ターゲットトラッキングには次の2つのモードがあります。スライダー軸は設定ポイントに基づいて移動できるため、レンズがターゲットを追跡できます。



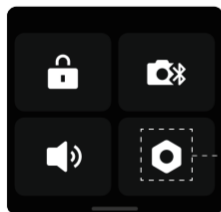
使い方と機能のご案内

■DJIプッシュモードを有効にする

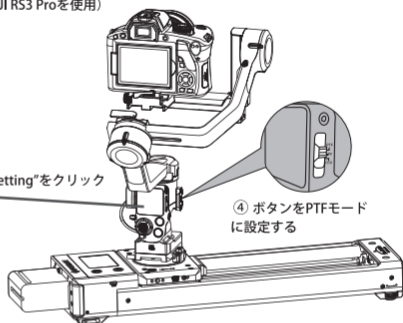
注意：Nano II をDJIのジェスチャーコントロールポイント設定機能で使用するには、この機能を有効にする必要があります。

DJIジンバルの電源を入れ、DJIプッシュモードを有効にします。

- ① DJIジンバルのホーム画面にアクセスします。「設定」をクリックして設定メニューに入ります。
- ② プッシュモードを選択してインターフェースに入ります。
- ③ パンとティルトを有効にします。
- ④ ボタンをPTFモードに設定する（例としてDJI RS3 Proを使用）



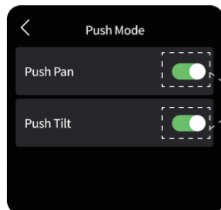
① “Setting”をクリック



④ ボタンをPTFモードに設定する



② “Push mode”を選びます



③ “Pan”と“Tilt”を有効にします

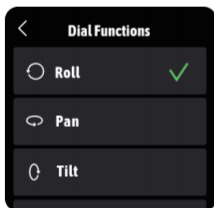
■ ロール軸の使用方法

Nano II でDJIロール軸と連携してキーポイントを設定します。

フロントダイヤルを使用してキーポイントを設定する：

ジンバルのロール軸の軌跡を記録するには、DJIメニューで「ダイヤル機能」を「Roll」に設定をします。フロントダイヤルを使用して希望の撮影位置に調整し、軌道ポイントを追加します。

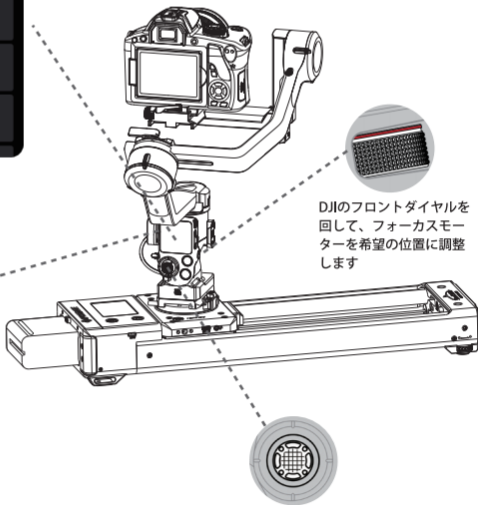
操作上の注意：DJIジンバルを使用する場合は、アプリまたはDJIジョイスティックを使用してポイントを設定することをお勧めします。手動でポイントを設定すると、力がかかるため難しい場合があります。凹みがあると、機器の異常動作（凍結、角度のずれなど）の原因となります



「ダイヤル機能」設定で
「Roll」に設定します



ジョイスティックモード
スイッチ押し下げ：
ジョイスティックモード
をジンバル移動制御に設
定します。



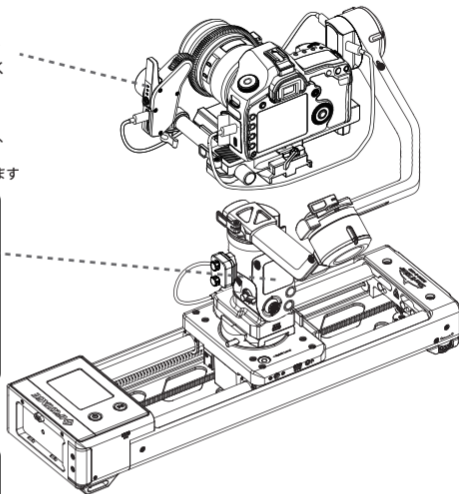
DJIのフロントダイヤルを
回して、フォーカスモー
ターを希望の位置に調整
します

DJIのジョイスティックを使用してキー
ポイントを設定すると、ティルト軸と
パン軸の調整がより安定します。

■フォーカスフォロー機能の使用手順

注意：フォローフォーカス機能は、DJI Focus Pro モーター（モデル番号DF03-002）コンボを搭載した RS4/RS4 Proのみをサポートします。

1. フォーカスモーターが「F」モードに設定されていることを確認してください。
2. DJIジンバルのタッチスクリーンで、「ダイヤル機能」をタップし、「フォーカスモーター」に設定します



■フォーカスフォロー機能の使用手順

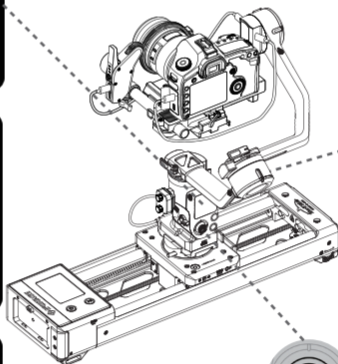
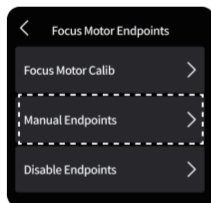
3.移動制限を調整する：機械式レンズと電子式レンズでは操作が異なります

①機械レンズの場合：2回押すと自動調整されます。

②電子レンズの場合：DJIホーム画面にアクセスし、下にスライドして「フォーカスマーターエンドポイント」を選択し、「手動エンドポイント」を選択して「開始点」と「終了点」を設定します。

4.キーポイントの設定：DJIのフロントダイヤルを回してフォーカスマーターを目的の位置に調整し、Nano IIのポイントAを押してポイントAを作成します。これを繰り返して他のキーポイントを作成します。

(注：Nano IIがDJIと連携してフォーカス機能を使用してポイントを設定する場合は、ダイヤルを使用してポイントを設定する必要があります。データが失われるため、ポイントを手動で設定しないでください。)

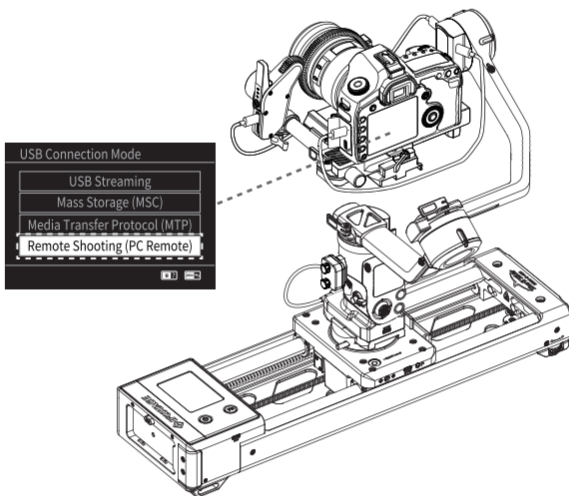


DJIのフロントダイヤルを回して、フォーカスマーターを希望の位置に調整します。

DJIのジョイスティックを使用してキーポイントを設定すると、ティルト軸とパン軸の調整がより安定します。

■カメラ撮影と録画機能

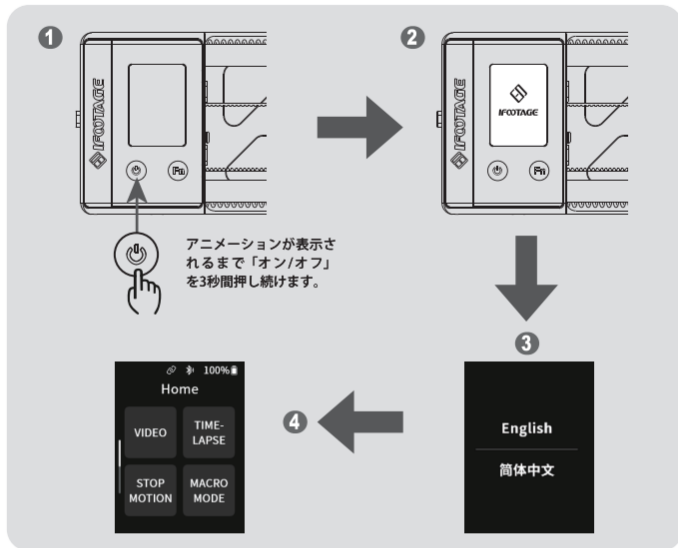
- 1.DJIのカメラ制御ケーブルでカメラを接続し、カメラを手動で「PCリモート」モードに設定します（設定はカメラのモデルによって異なる場合がありますので、お使いのカメラに合わせて調整してください）。
- 2.サポートされているモード：ビデオ撮影、タイムラプス、ストップモーションアニメーション。
- 3.カメラの互換性：DJIサポートウェブサイトで、ジンバルとカメラを選択して互換性を確認してください。



使い方

■起動/シャットダウン

1. 起動するにはアニメーションが表示されるまで「オン/オフ」を3秒間押し続けます。最初の起動時に言語を選択するとホーム画面に移動します。



2. シャットダウン：電源ボタンを3秒間押し続けると、電源がオフになります。



アプリダウンロード：QRコードをスキャン又は、iFootage Mocoを検索



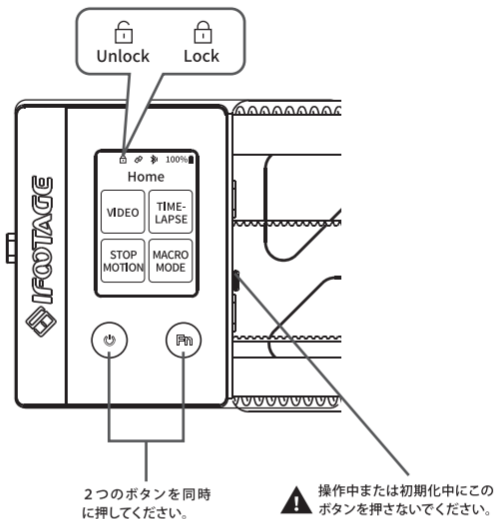
iFootage Moco APP



Nano-II Touchscreen
User Guide

使い方

■ジェスチャーコントロール



ロック解除：電源ボタンとFnボタンを同時に押すとクイックスタートモードが起動し、スライダーを動かしてポイントを設定できるようになります。

注：どのページでも「ON/OFF」と「Fn」を同時に押すと、現在のモードの設定ポイントのページにすぐにジャンプし、ロックが解除されます。

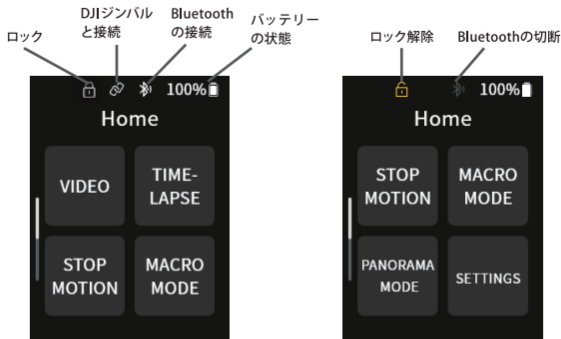


ロック：ロック解除後、「ON/OFF」ボタンを押すと「ロック」機能がオンになり、スライダーが動かなくなります。

キーポイントの設定：スライダーとパン軸を希望の位置まで動かし、画面上のAをタップしてポイントを設定します。最大8つのポイント（A～H）が設定できます。設定後に任意のポイント（A～H）をタップすると、スライダーがそこに移動します。

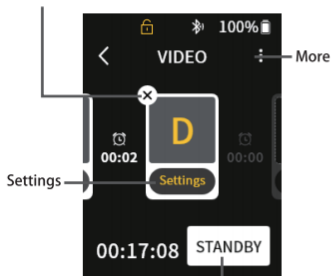
使い方

■タッチスクリーンの説明



キーポイントの削除

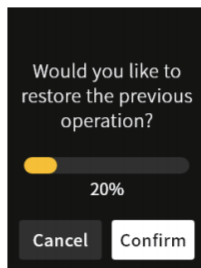
キーポイントインターフェースの左上隅にある (X) をタップしてポイントを削除します。ポイントが削除されると、それに続くすべてのポイントも削除されます。



スタート地点に戻る: デバイスがスタート地点にない場合は、「STANDBY」を押して戻り、もう一度「スタート」を押して操作します。

電源遮断メモリ

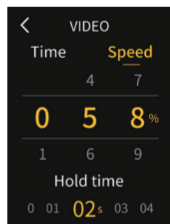
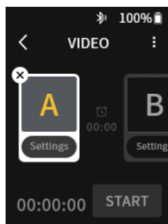
本製品には、突然の電源喪失後でも位置と設定を保持する電源オフメモリ機能が搭載されています。電源が回復したら、デバイスをタップするだけで、再プログラミングなしで以前の設定をすべて瞬時に復元できます。



モードの選択

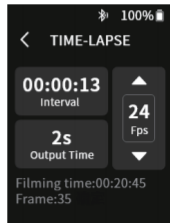
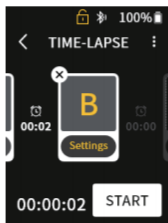
1.ビデオモード

ホーム画面上で「VIDEO」モードを選択します。「オン/オフ」と「Fn」を押してキーポイントを設定します。「SETTINGS」をタップすると、時間速度やホールド時間などのビデオパラメータにアクセスできます。画面右上にある3つのドットアイコンをクリックして、方向、ループ、スタートディレイ時間を追加設定できます。



2.タイムラプス

ホーム画面上で「TIME-LAPSE」モードを選択します。キーポイントを設定するには、「オン/オフ」と「Fn」を押します。「SETTINGS」をタップしてフォーム間隔、出力時間、フレームレートを設定し、戻ると自動的に保存されます。画面右上にある3つのドットアイコンをクリックして、方向、ループ、スタートディレイ時間を追加設定できます。



モードの選択

3. ストップモーション

ホーム画面上で「STOP MOTION」モードを選択します。キーポイントを設定するには、「オン/オフ」と「Fn」を押します。「SETTINGS」をタップして出力時間とフレームレートを設定し、戻ると自動的に保存されます。「その他」の横にある3つのドットアイコンをクリックして、方向、ループ、スタートディレイ時間を追加設定できます。



4. マクロモード

ホーム画面上で「MACRO MODE」を選択します。「オン/オフ」と「Fn」を押してキーポイントを設定します。画面右上の アイコンをタップすると微調整インターフェースにアクセスし、各調整の距離を設定できます。「SETTINGS」をタップするとマクロモードの設定ページに入り、撮影間隔とステップサイズを設定できます。前のページに戻ると、変更内容は自動的に保存されます。



モードの選択

5. パノラマモード

ホーム画面上で「PANORAMA MODE」を選択します。キーフレームの場合は、「オン/オフ」と「Fn」を押します。パノラマポイント設定ページで、開始位置と終了位置を設定します。「3つのドットアイコン」をクリックすると追加設定ページに移動し、方向を調整したり、スタートディレイ時間を設定できます。



More

開始点 / 終了点: 「Start Point」を選択し、「進む>」または「<戻る」をシングルタップまたは長押しして開始点の位置を調整します。「End Point」を選択し、同じ手順を繰り返します。

注: 角度が 180 度を超える場合、ケーブルの絡まりを防ぐため、カメラは反対方向に回転しますが、撮影経路には影響しません。

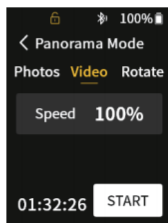
5.1 パノラマモード-写真撮影

キーポイントを設定したら、「Next」をクリックすると、デフォルトの写真撮影モードに入ります。撮影間隔を設定したり、自動撮影と手動撮影を選択できます。



5.2 パノラマモード-ビデオ

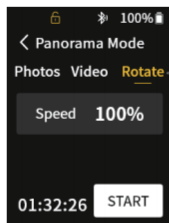
ポイントを設定したら、「Next」をクリックし、「VIDEO」を選択してビデオの撮影速度を設定します。



モードの選択

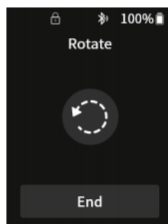
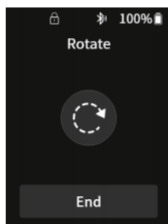
5.3パノラマモード-回転

パノラマモードでは、「回転」機能により、速度を調整しながらパン軸を連続的に回転させることができます。



パノラマモードでは、「Next」をクリックして回転を開始します。絡まりを防ぐため、カメラケーブルは必ず外してください。

回転を開始したら「Rotate」  をクリックして時計回りと反時計回りを切り替えます。回転を停止するには「End」をクリックします。

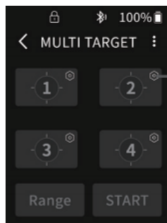


モードの選択

6、マルチターゲットモード

マルチターゲット機能を使用すると、同じ水平範囲内にある複数のターゲットを見つけて追跡できます。必要に応じてターゲットを簡単に切り替えることができます。

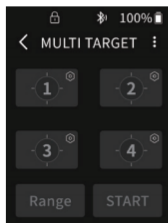
ホーム画面で「MULTI TARGET」モードを選択します。「オン/オフ」と「Fn」キーを押してターゲットを設定します。



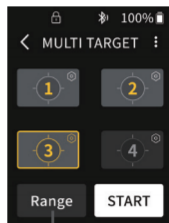
ターゲット位置をリセットして変更します。

ターゲット（被写体）の設定

1 アイコンをクリックしてターゲット位置ページに移動します。スライド軸を目的の位置に移動してカメラをターゲットに合わせ、ポイント1をクリックします。スライド軸をほかの位置に移動してカメラを同じターゲットポイントに合わせ、「ポイント2」をクリックしてターゲットの設置を終了します。ターゲットは 3 でハイライト表示され、設定されていることが確認できます。他のターゲットについても同様に繰り返します。



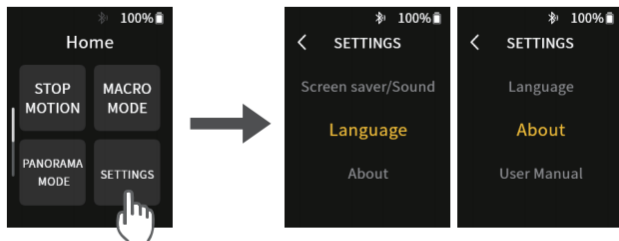
「Reset」をタップすると、「開始点」と「終了点」がリセットされます。



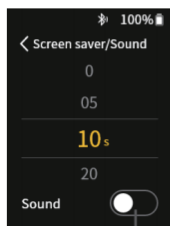
「Range」をタップします。移動範囲の設定ページに移動します。全てのターゲットの「開始点」、「終了点」、及び「速度」を変更します。

設定の概要

ホーム画面の「SETTINGS」をクリックして設定インターフェースに入ります。

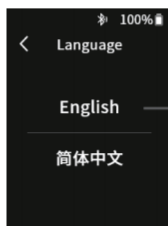


1. スクリーンセーバー / 音設定



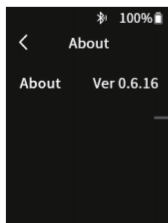
サウンドのオン/オフ

2. 言語切り替え（英語/中国語）



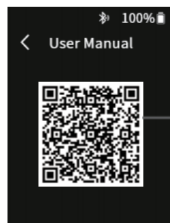
上下にスワイプすると、中国語と英語を切り替えられます。

3. 製品について



NanoIIの
ファームウェ
アのバージョ
ンが確認でき
ます。

4. タッチスクリーンユーザーガイド

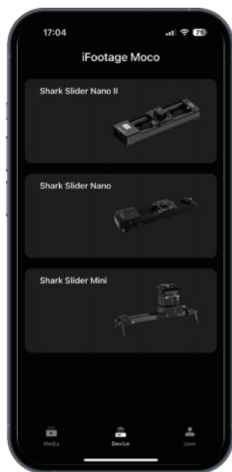


QRコードをスキャ
ンして詳細をご確認
ください。

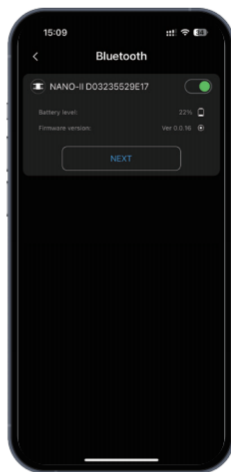
Bluetooth接続

Bluetoothのセットアップ

1. 電源オンと接続: Nano II の電源ボタンを長押しします。スマートフォンでBluetoothを有効にし、iFootage Mocoアプリを開きます。BluetoothリストからNano II を選択します。接続すると、バッテリー残量とファームウェアのバージョンが表示されます。「Next」をタップして接続を完了します。ファームウェアのアップデートが利用可能な場合は、アップデートを選択できます。アップデート中はしばらくお待ちください。問題を防ぐため、デバイスの使用は控えてください。



APP Interface



APP Interface

注意:

1. Nano II はBluetooth BLE5.0を使用します。接続する前に、お使いのスマートフォンのBluetoothが有効になっていることを確認してください。
2. Android端末の場合は、位置情報サービスもオンにする必要があります。
3. アプリは、iOS12.0以降及びAndroid8.0をサポートしています。ファームウェアを更新するときは、電源につながった状態でしてください。

アプリのご案内

■Mocoアプリのダウンロード及び接続方法

「iFootage Moco」は、iFootage International Co., Ltd. が開発したモバイルアプリで、iOS と Android の両方のプラットフォームで利用できます。このアプリを使用すると iFootage の撮影機器を制御でき、タイムラプス撮影、ビデオ撮影、ストップモーションアニメーション、マクロモード、パノラマモード及びマルチターゲット等の機能を提供します。詳細にはについては、www.ifootagegear.com をご覧ください。



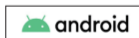
iFootage Moco
APP ダウンロード



Nano II
APP ユーザーガイド



公式ウェブサイト



■マルチキーポイントの設置

アプリまたはタッチスクリーンを使用して、最大 8 つのカスタマイズ可能なポイントを設定できます。手動及びジョイスティックによる正確な調整をサポートし、複雑なショットを簡単に撮影できます。

■ターゲットトラッキング

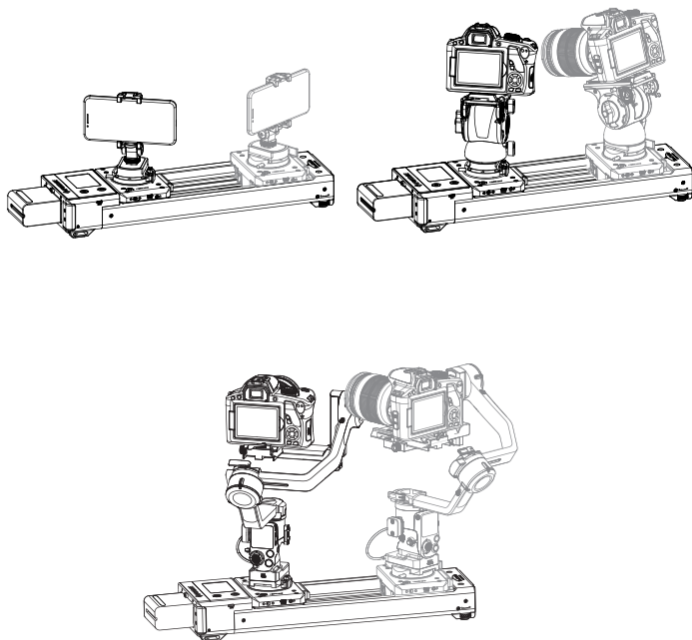
高度な AI を活用し、顔認識やオブジェクト追跡などの正確なターゲット認識と追跡を実現。DJI ジンバルと組み合わせることで、安定した撮影を実現します。

■6つの撮影モード

ビデオ録画、ストップモーション、タイムラプス、マクロ、パノラマモード、マルチターゲットからお選びいただけます。様々なシーンとニーズに対応し、創造性を効果的に表現できます。

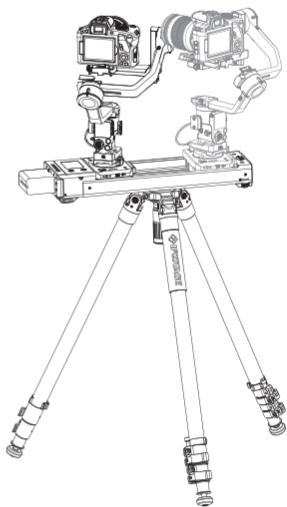
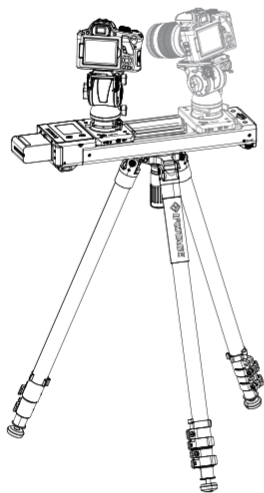
■横置きで使用する

Nano IIを地面またはテーブルの上で使用する場合、起動前にトラック上に障害物がないことを確認してください。



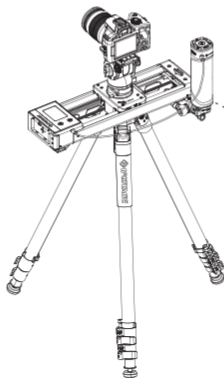
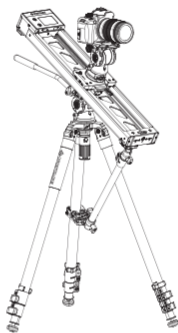
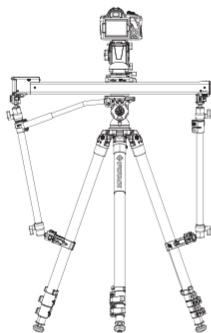
■ Nano II を三脚に取り付ける

Nano II を三脚で使用する場合、三脚の脚が十分に広がり、電動雲台部分とカメラの動きを完全に支えられることを確認してください。



■横位置/縦位置撮影

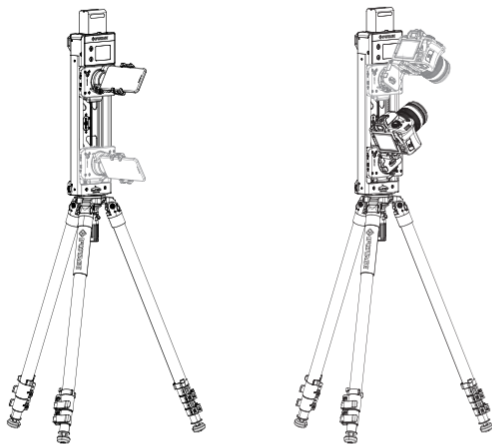
Nano II のスライダー部には、ベースと端に1/4インチのネジ穴が付いており、マジックアームやサポートロッド等のアクセサリを取り付けて安定性を確保できます。Nano II -660の場合、荷重が7kgに達すると、スライダーはテーブルまたは平らな面の上で使用する必要があります。三脚を使用する場合は、安定性を確保するために追加のサポートロッドが必要です。



マジックアームを使って
PD140Hバッテリーグリップ
を三脚に固定します。

■三脚を使った縦位置撮影

縦位置撮影の場合、まずはNano IIを三脚に取り付けます。安全を確保するため、まずは電源を入れ、初期状態にリセットした後、カメラを取り付けます。



定期的な点検

1. 製品の性能に影響を与える埃の蓄積を防ぐため、定期的に製品の外側を清潔でやわらかい乾いた布で丁寧に拭いてください。
2. 本製品及び付属アクセサリには、ご購入日から1年間の保証が付いています。
3. 不適切または異常な操作による製品の損傷または動作不良は、保証の対象外となります。
4. 許可されていない処理または修理を試みた場合、保証は無効となり、保証の期間内であっても修理に料金が発生します。
5. 製品が機能しなくなったり、水や湿気にさらされたりした場合は、使用を控え、検査と修理を受けてください。
6. この製品に強い化学薬品、洗剤、液体を使用しないでください。
7. 万が一、製品に欠陥が見つかった場合は、購入先又は弊社のサポート窓口へお問い合わせください。

ステートメント

iFootage は、ハードウェア及びソフトウェアの仕様を予告なく変更または修正する権利を留保します。
取扱説明書と実際の製品との間に相違がある場合は、製品自体を参照してください。

iFootage およびその関連会社は、iFootage 製品の使用または誤用に起因する直接的、間接的、懲罰的、偶発的、特別、結果的または財産的損害、または生命への危害について一切責任を負いません。

ユーザーは本製品の使用に伴うすべてのリスクを負うものとし、これはユーザーの法的権利に影響を与えるものではありません。



iFootage Moco
APP ダウンロード

iFootage Moco アプリをダウンロードするには、QR コードを
スキャンするか、当社のウェブサイトアクセスしてください。
操作方法の詳細については、当社のウェブサイト
www.ifootagegear.com をご覧ください。

保証書

- 品名(型番): NanoII-460 / 660
- 製造番号(SERIAL NO.):
- 保証期間:お買い上げ日より1年間
- 領収書・レシートがお買い上げ証明となります。

1. 保証期間内に、取扱説明書にそった正常なご使用状態で万一故障した場合、この保証書とお買い上げ証明を添えてお買い上げ頂きました販売店にご依頼くだされば無償修理を受付させていただきます。
尚ご持参・ご郵送にかかる諸費用等はお客様にてご負担願います。
2. 次のような場合は、保証期間中でも有償修理になります。
 - ①保証書のご提示がない場合。
 - ②お買い上げ証明がない場合。
 - ③ご使用上の誤り、落下、衝撃、火災、地震、浸水等による故障、損傷。
 - ④他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障、損傷。
3. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
4. 本製品の故障に起因する付随的障害の補償には応じかねます。
5. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

made in china

■商品に関するお問い合わせは、



株式
会社

浅沼商会

HP : <http://www.asanumashoukai.co.jp>

